

～栽培講習会による栽培技術普及～（営農企画課、販売促進課）

旬彩蔵出荷会員の育成支援を図るため、各地域（営農生活センター・旬彩蔵各店舗・野菜苗生産基地）において旬彩蔵出荷会員を対象として各種作物の栽培講習会を定期的に開催しています。この講習会を通して旬彩蔵に出荷される農産物の品質向上に取り組むとともに、新規作物の推進や端境期の出荷対策に取り組んでいます。

当JAで特産化を目指している「プチヴェール」「ロマネスコ」の栽培講習会を開催し、当年度のプチヴェールの栽培本数は5,823本（前年対比92.3%）、ロマネスコの栽培枚数は769トレー（前年対比243.3%）となりました。（平成28年度）。

栽培講習会開催状況

（開催回数、出席者数）

地域	講習会内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度
姫路	夏野菜、秋冬野菜、水稻等	121会場 / 1,893名	46会場 / 771名	53会場 / 980名
神飾	夏野菜、秋冬野菜、水稻等	34会場 / 632名	39会場 / 547名	6会場 / 144名
揖保	小麦・大豆、水稻穂肥、野菜等	62会場 / 2,033名	139会場 / 1,393名	125会場 / 938名
赤佐	水稻穂肥、野菜等	131会場 / 1,696名	69会場 / 1,291名	60会場 / 1,193名
旬彩蔵	小菊、プチヴェール、ロマネスコ	15会場 / 291名	6会場 / 96名	6会場 / 141名



プチヴェール栽培講習会



佐用ジャンボピーマン栽培講習会

⑥-④ 契約栽培米、契約小麦・大豆等の拡販	営農販売部
+	
⑥-⑤ 多様な販売チャネルの開拓	営農販売部
+	
⑥-⑥ 新しい品目や作型の導入、優良品種への取り組み	営農販売部

～販売戦略～（営農企画課・販売促進課・販売施設課）

当JAでは、従来の作れる場所で作れるものを作るという「プロダクトアウト」の発想から脱却し、市場で必要とされているもの、売れるものを作るという「マーケットイン」の発想に基づいた生産・販売事業方式への転換を進めています。これを実現するために、農産物の生産から新規販売先の開拓までをマネジメントする販売コーディネーター（販売専門担当者）を配置しています。

全国に誇る農商工連携（担い手、醤油・製粉・清酒メーカー）により土地利用作物（米、麦、大豆）の契約栽培に組み、担い手の経営安定を図っています。また、このような取り組みを通して、地元の実需者や大手回転寿司チェーンとの契約栽培米の取引開始による取扱拡大、学校給食との新規取引、関西圏の中堅スーパー等への新規出荷など、順調に成果をあげつつあります。

また、当JAでは、競争力のある独自ブランド米による拡販に向けて、パーク堆肥等を活用した有機施設米の計画的な生産に組んでいます。

契約栽培への取り組み実績・計画

品目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 （計画）
うるち米	312 t	308 t	563 t	972 t
酒米	861 t	931 t	799 t	845 t
小麦	1,953 t	1423 t	2,002 t	2,442 t
大豆	252 t	153 t	222 t	570 t
黒豆	115 t	95 t	84 t	113 t
小豆	75 t	110 t	82 t	166 t

	平成28年度 実績	平成29年度 目標
JA独自ブランド米	1 t	32 t



牛糞堆肥の散布